

議事資料（2）

上下水道事業経営審議会
令和6年2月14日

令和6年度盛岡市下水道事業会計予算（案）の概要

盛岡市上下水道局

令和6年度 盛岡市下水道事業会計予算（案）の概要

I はじめに

本市の下水道事業は、市街地の中心部を対象として昭和28年に事業着手し、その結果、令和4年度末で行政区域内人口に対する普及率は90.1%となっています。今後は人口減少等に伴い使用料収入の大幅な増加は見込めない中で、老朽化した施設への対応や大雨・地震等の自然災害への対策が課題となっています。

これらの課題に応えるため、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を目指し、現経営戦略に続く計画として、令和7年度を初年度とした「ビジョン（基本計画及び経営戦略）」の策定を進め、今後の事業運営の方向性を示すとともに、現行使用料の妥当性を検討します。

令和6年度は、公営企業会計に移行した農業集落排水事業及び公設浄化槽事業を適切に維持管理するとともに、公共下水道事業においては、管渠整備等の実施及びストックマネジメント計画に基づいた耐震化・改築更新を進めるほか、不明水対策や事業計画区域における未実施区域の浸水解析を実施し、災害に強い下水道施設の整備を進めます。また、汚水処理100%達成プランや浄化槽設置補助等による汚水処理未整備区域の早期水洗化を図ります。

これからも、盛岡市総合計画の実施計画で示す「汚水処理の充実」「雨水浸水対策の推進」「地方公営企業の経営の効率化及び健全化」を施策の柱として、盛岡市下水道事業中長期経営計画に基づき、盛岡市国土強靱化地域計画も踏まえ、将来を見据えた持続可能な事業運営を推進します。

II 主要事業について

1 汚水管渠整備事業

未整備地区の幹線整備と面整備を行うとともに、街路・道路事業及び土地区画整理事業に併せて**管渠整備工事**を実施します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 交付金事業	9 地区 4,265m (渋民、好摩、上米内、東中野、津志田、西見前、黒川、下太田、羽場)	879,800
(2) 起債単独事業	17 地区 3,790m (渋民、下田、上米内、東中野、南仙北、三本柳、西見前、東見前、永井、手代森、黒川、上厨川、中太田、下太田、下飯岡、下鹿妻、羽場)	699,400
(3) 純単独事業	盛南中央第一処理分区 150m (道明地区生活環境整備事業) 蛇島汚水中継ポンプ場マンホールポンプ設置工事 都南中央処理分区汚水管布設替工事 松園第二汚水中継ポンプ場燃料貯蔵槽増設実施設計業務委託	79,032

2 雨水管渠整備事業

浸水防除のため、**幹線整備**を行うとともに、道路事業及び土地区画整理事業に併せて**面整備**を実施するほか、災害リスク情報の空白地帯における**浸水シミュレーション**を実施します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 交付金事業	4 地区 499m (青山、山岸、三本柳、東見前) 盛岡市内水浸水解析業務委託	691,000
(2) 起債単独事業	12 地区 571m (黒石野、青山、上田、高松、東仙北、みたけ、館向町、東緑が丘、津志田、永井、東見前、東山)	197,640
(3) 純単独事業	盛岡市公共下水道事業計画変更業務委託 下道雨水ポンプ場隣接用地取得	43,781

3 下水道施設の耐震化・改築更新

盛岡市下水道総合地震対策計画に基づき、**施設の耐震対策**を実施します。

長寿命化対策については、下水道施設を計画的かつ効率的に管理するため、**ストックマネジメント計画に基づく改築・更新**を実施します。

また、民間企業のノウハウや特長を活かした官民連携方式（ウォーター P P P）に関する導入可能性調査を実施します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 地震対策事業	蛇島汚水中継ポンプ場耐震設計業務委託	10,000
(2) 長寿命化対策事業	管更生工事（中川原処理分区、松園分区） 【不明水対策】松園分区人孔口環改修工事等 管渠更生詳細設計業務委託等 ウォーター P P P 導入可能性調査業務委託	812,428

4 安定した汚水処理の確保及び水洗化普及促進

安定した汚水の処理の確保及び浸水被害の防止を図るため、既存施設の改修・修繕を実施するほか、岩手県が施行している北上川上流流域下水道都南処理区の**維持管理負担金を支出**します。

また、汚水処理 100%達成プランにより地元説明に努めるとともに、公共下水道への切替えや水洗化普及の促進を図るため、各種補助制度や資金融資制度の利用を啓発します。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 安定した汚水処理	北上川上流流域下水道維持管理負担金	2,088,506
	北上川上流流域下水道建設負担金	70,277
(2) 施設の適正な維持管理	汚水管【不明水対策】及び雨水管修繕(桜台分区外)	106,462
	国道4号及び46号内下水道施設点検業務委託等	71,361
	ポンプ場ポンプ修繕等	98,532
(3) 融資・補助制度	私設下水道設置事業補助、私設下水道補修事業補助、排水設備普及資金利子補給	7,258

5 お客さまサービスの向上

お客さまのニーズに応えるため、民間企業が持つノウハウやネットワークを活用し、窓口業務の充実とともに、毎月徴収制度やWebでの口座振替受付などの周知を図り、お客さまサービスの向上に努めます。

また、「盛岡市上下水道局広報戦略方針」及び「短期広報戦略」に基づき、市広報紙、上下水道局広報紙「みずの輪」、上下水道局公式ホームページ及び動画掲載等による情報発信を行うほか、マンホールカードの配布を継続しながら、伝わる広報の推進に努めます。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) お客さまの利便性・満足度向上	検針・料金徴収業務委託(下水道使用料事務負担金)	181,030
(2) 広聴・広報の充実	ホームページ運用保守管理及び広報紙制作等業務委託(水道事業会計への負担金)	1,880
	市広報紙「広報もりおか」への掲載、マンホールカードの配布	254

6 健全経営の推進

債権管理を徹底し、収入の確保に努めるとともに、施設の更新需要の増加に備え、建設投資の内容の精査・検討を行い、一層の経営効率化を推進するほか、将来の下水道事業を担う人材の育成に努めます。

単位：千円

事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 経費の削減・効率化の推進	下水道台帳システム経費	9,346
(2) 収入の確保	滞納整理専門員の配置	3,542
(3) 人材育成・技術継承の推進	企業職員研修費	4,650
(4) 使用料の妥当性の検討	経営改善支援・普及事業委託料	2,000

7 農業集落排水事業及び公設浄化槽事業の企業会計移行

農業集落排水事業及び公設浄化槽事業に、地方公営企業法の「全部を適用」し、公共下水道事業と併せて上下水道事業管理者の下で一括管理することにより、汚水処理の一元化を図ります。

単位：千円

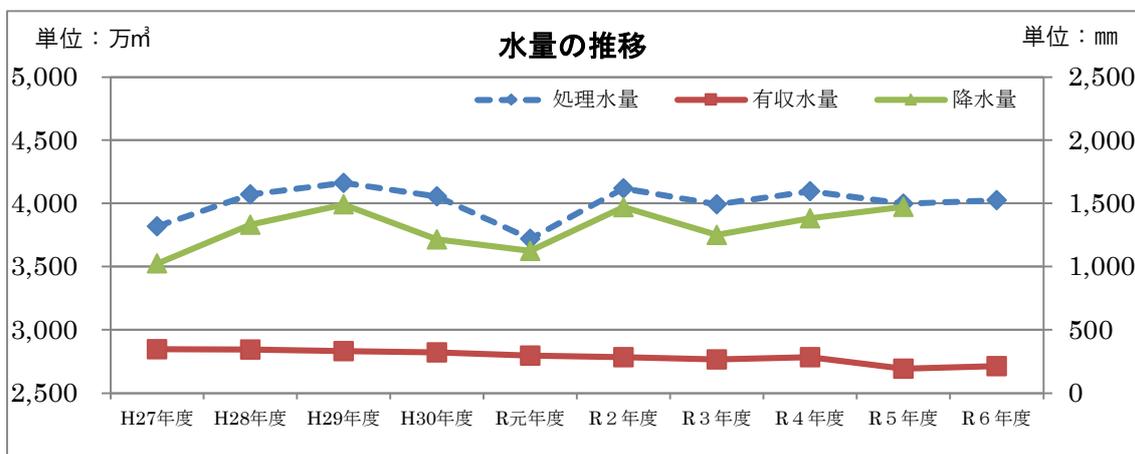
事業の区分等	主要事業の内容	予算額
(1) 農業集落排水事業	維持管理業務	148,869
(2) 公設浄化槽事業	維持管理業務	9,716

III 業務量について

本年度の公共下水道事業における業務量は、前年度に比較し、処理戸数で0.3%の増、年間処理水量で0.7%の増とした。

【公共下水道事業】

年 度	令和6年度 (A)	令和5年度 当初(B)	比較増減 (A)-(B)	増減率	令和5年度 見込(C)	比較増減 (A)-(C)	増減率
処理戸数(戸)	127,131	126,739	392	0.3%	126,457	674	0.5%
処理人口(人)	251,710	254,899	△3,189	△1.3%	252,997	△1,287	△0.5%
年間処理水量(千m ³)	40,269	39,986	283	0.7%	40,514	△245	△0.6%
有収水量(千m ³)	27,140	26,936	204	0.8%	27,265	△125	△0.5%



農業集落排水事業における業務量は、前年度に比較し、処理戸数で0.2%の減とした。

【農業集落排水事業】

年 度	令和6年度 (A)	令和5年度 当初(B)	比較増減 (A)-(B)	増減率	令和5年度 見込(C)	比較増減 (A)-(C)	増減率
処理戸数(戸)	2,140	2,144	△4	△0.2%	2,140	0	0.0%
処理人口(人)	7,081	7,279	△198	△2.7%	7,173	△92	△1.3%
年間処理水量(千m ³)	887	-	-	-	-	-	-

公設浄化槽事業における業務量は、前年度に比較し、浄化槽基数で同数とした。

【公設浄化槽事業】

年 度	令和6年度 (A)	令和5年度 当初(B)	比較増減 (A)-(B)	増減率	令和5年度 見込(C)	比較増減 (A)-(C)	増減率
浄化槽基数(基)	124	124	0	0.0%	124	0	0.0%
処理人口(人)	573	-	-	-	-	-	-

IV 予算規模について (令和6年度には農業集落排水事業及び公設浄化槽事業を含む。)

1 収益的収入及び支出

収益的収入は、8,908,363千円を予定し、前年度予算額 8,330,697千円に比較し、577,666千円(6.9%)の増とした。増の主なものは、他会計負担金 393,236千円、長期前受金戻入 112,010千円、減の主なものは、受託事業収益 37,585千円である。また、下水道使用料は、4,606,932千円を見込み、前年度予算額 4,497,275千円に比較し、109,657千円(2.4%)の増とした。

支出については、8,655,591千円を予定し、前年度予算額 8,160,429千円に比較し、495,162千円(6.1%)の増とした。増の主なものは、処理場費 70,250千円、総係費 91,382千円、減価償却費 289,664千円、減の主なものは、受託事業費 37,585千円、支払利息及び企業債取扱諸費 14,192千円である。

これにより、本年度予算における純利益は 59,080千円となり、前年度予算の純利益 28,893千円に比較し、30,187千円(104.5%)の増となった。

2 資本的収入及び支出

資本的収入は、3,427,539千円を予定し、前年度予算額 2,771,246千円に比較し、656,293千円(23.7%)の増とした。企業債は 2,086,600千円、国庫補助金である下水道事業費交付金は 948,400千円を見込んだ。

支出については、6,489,861千円を予定し、前年度予算額 5,565,003千円に比較し、924,858千円(16.6%)の増とした。増の主なものは、建設改良費 823,408千円である。なお、収入額が支出額に不足する額 3,062,322千円は、損益勘定留保資金等で補填するものとする。

V 下水道事業会計予算の概要

〈消費税込〉
(単位:千円、%)

区 分			令和6年度 予算額※1 (A)	令和5年度予算との比較		令和5年度決算見込との比較			
				予算額※2 (B)	比較増減 (A-B)	決算見込額 ※2 (C)	比較増減 (A-C)		
収 益	収 入	1. 下水道使用料	4,606,932	4,497,275	109,657	2.4	4,550,315	56,617	1.2
		2. 他会計負担金	3,212,817	2,819,581	393,236	13.9	2,753,829	458,988	16.7
3. 長期前受金戻入		1,075,147	963,137	112,010	11.6	957,813	117,334	12.3	
4. その他		13,467	50,704	△37,237	△73.4	49,088	△35,621	△72.6	
	合計	8,908,363	8,330,697	577,666	6.9	8,311,045	597,318	7.2	
的 収 入 及 び 支 出	支 出	1. 営業費用	8,167,464	7,636,503	530,961	7.0	7,478,765	688,699	9.2
		(管渠費)	(497,809)	(449,634)	48,175	10.7	(359,354)	138,455	38.5
		(ポンプ場費)	(212,884)	(171,835)	41,049	23.9	(152,265)	60,619	39.8
		(処理場費)	(315,465)	(245,215)	70,250	28.6	(232,868)	82,597	35.5
		(普及費)	(54,993)	(53,258)	1,735	3.3	(54,404)	589	1.1
		(浄化槽費)	(9,716)	(0)	9,716	皆増	(0)	9,716	皆増
		(受託事業費)	(9,056)	(46,641)	△37,585	△80.6	(39,025)	△29,969	△76.8
		(業務費)	(204,033)	(200,718)	3,315	1.7	(198,510)	5,523	2.8
		(総係費)	(298,374)	(206,992)	91,382	44.1	(193,730)	104,644	54.0
		(流域下水道管理費)	(2,088,506)	(2,075,246)	13,260	0.6	(2,075,246)	13,260	0.6
		(減価償却費)	(4,469,628)	(4,179,964)	289,664	6.9	(4,168,985)	300,643	7.2
		(資産減耗費)	(7,000)	(7,000)	0	0.0	(4,378)	2,622	59.9
		2. 営業外費用	464,990	512,372	△47,382	△9.2	544,258	△79,268	△14.6
		3. 特別損失	13,137	1,554	11,583	745.4	3,374	9,763	289.4
4. 予備費	10,000	10,000	0	0.0	10,000	0	0.0		
	合計	8,655,591	8,160,429	495,162	6.1	8,036,397	619,194	7.7	
	収支差引額	252,772	170,268	82,504	48.5	274,648	△21,876	△8.0	
	税抜き純利益	(59,080)	(28,893)	(30,187)	(104.5)	(161,414)	(△102,334)	(△63.4)	
	たな卸資産購入費	22,000	22,000	0	0.0	22,000	0	0.0	
資 本 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1. 企業債	2,086,600	1,644,400	442,200	26.9	1,359,800	726,800	53.4
		2. 負担金及び分担金	392,537	390,344	2,193	0.6	401,996	△9,459	△2.4
		3. 補助金	948,400	736,500	211,900	28.8	531,512	416,888	78.4
		4. 固定資産売却代金	2	2	0	0.0	2	0	0.0
		合計	3,427,539	2,771,246	656,293	23.7	2,293,310	1,134,229	49.5
	支 出	1. 建設改良費	3,729,267	2,905,859	823,408	28.3	2,355,638	1,373,629	58.3
		2. 企業債償還金	2,754,544	2,653,094	101,450	3.8	2,653,094	101,450	3.8
		3. その他資本的支出	6,050	6,050	0	0.0	111	5,939	5,350.5
		合計	6,489,861	5,565,003	924,858	16.6	5,008,843	1,481,018	29.6
		資本的収支不足額 ※3	3,062,322	2,793,757	268,565	9.6	2,715,533	346,789	12.8

※1 令和6年度より、下水道事業会計として、公共下水道事業、農業集落排水事業、公設浄化槽事業をセグメントとして一本化。

※2 令和5年度は公共下水道事業予算のみ。農業集落排水事業及び公設浄化槽事業は特別会計であるため含まない。

※3 資本的収支不足額3,062,322千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填する。

VI 下水道事業会計予算の概要（公共下水道のみ）

〈消費税込〉
（単位：千円、％）

区 分			令和6年度	令和5年度予算との比較		令和5年度決算見込との比較				
			予算額 (A)	予算額 (B)	比較増減 (A-B)		決算見込額 (C)	比較増減 (A-C)		
収 益 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1. 下水道使用料	4,525,734	4,497,275	28,459	0.6	4,550,315	△24,581	△0.5	
		2. 他会計負担金	2,872,930	2,819,581	53,349	1.9	2,753,829	119,101	4.3	
		3. 長期前受金戻入	969,036	963,137	5,899	0.6	957,813	11,223	1.2	
		4. その他	13,463	50,704	△37,241	△73.4	49,088	△35,625	△72.6	
		合計	8,381,163	8,330,697	50,466	0.6	8,311,045	70,118	0.8	
	支 出	支 出	1. 営業費用	7,640,793	7,636,503	4,290	0.1	7,478,765	162,028	2.2
			(管渠費)	(470,593)	(449,634)	20,959	4.7	(359,354)	111,239	31.0
			(ポンプ場費)	(212,884)	(171,835)	41,049	23.9	(152,265)	60,619	39.8
			(処理場費)	(193,825)	(245,215)	△51,390	△21.0	(232,868)	△39,043	△16.8
			(普及費)	(54,980)	(53,258)	1,722	3.2	(54,404)	576	1.1
(受託事業費)			(9,056)	(46,641)	△37,585	△80.6	(39,025)	△29,969	△76.8	
(業務費)			(199,942)	(200,718)	△776	△0.4	(198,510)	1,432	0.7	
(総係費)			(204,516)	(206,992)	△2,476	△1.2	(193,730)	10,786	5.6	
(流域下水道管理費)			(2,088,506)	(2,075,246)	13,260	0.6	(2,075,246)	13,260	0.6	
(減価償却費)			(4,199,491)	(4,179,964)	19,527	0.5	(4,168,985)	30,506	0.7	
(資産減耗費)	(7,000)	(7,000)	0	0.0	(4,378)	2,622	59.9			
2. 営業外費用	434,762	512,372	△77,610	△15.1	544,258	△109,496	△20.1			
3. 特別損失	3,182	1,554	1,628	104.8	3,374	△192	△5.7			
4. 予備費	10,000	10,000	0	0.0	10,000	0	0.0			
合計	8,088,737	8,160,429	△71,692	△0.9	8,036,397	52,340	0.7			
収支差引額			292,426	170,268	122,158	71.7	274,648	17,778	6.5	
税抜き純利益			(98,734)	(28,893)	(69,841)	(241.7)	(161,414)	(△62,680)	(△38.8)	
たな卸資産購入費			22,000	22,000	0	0.0	22,000	0	0.0	
資 本 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1. 企業債	2,086,600	1,644,400	442,200	26.9	1,359,800	726,800	53.4	
		2. 負担金及び分担金	332,957	390,344	△57,387	△14.7	401,996	△69,039	△17.2	
		3. 補助金	948,400	736,500	211,900	28.8	531,512	416,888	78.4	
		4. 固定資産売却代金	2	2	0	0.0	2	0	0.0	
		合計	3,367,959	2,771,246	596,713	21.5	2,293,310	1,074,649	46.9	
	支 出	1. 建設改良費	3,729,267	2,905,859	823,408	28.3	2,355,638	1,373,629	58.3	
		2. 企業債償還金	2,478,442	2,653,094	△174,652	△6.6	2,653,094	△174,652	△6.6	
		3. その他資本的支出	6,050	6,050	0	0.0	111	5,939	5,350.5	
		合計	6,213,759	5,565,003	648,756	11.7	5,008,843	1,204,916	24.1	
	資本的収支不足額 ※1			2,845,800	2,793,757	52,043	1.9	2,715,533	130,267	4.8

※1 資本的収支不足額2,845,800千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填する。

Ⅶ セグメントごとの概要

〈消費税込〉
(単位:千円)

区 分		公共下水道事業	農業集落排水事業	公設浄化槽事業	合 計		
収 益 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1. 下水道使用料	4,525,734	74,551	6,647	4,606,932	
		2. 他会計負担金	2,872,930	332,709	7,178	3,212,817	
		3. 長期前受金戻入	969,036	104,119	1,992	1,075,147	
		4. その他	13,463	2	2	13,467	
		合 計	8,381,163	511,381	15,819	8,908,363	
	支 出	支 出	1. 営業費用	7,640,793	510,484	16,187	8,167,464
			(管渠費)	(470,593)	(27,216)	(0)	(497,809)
			(ポンプ場費)	(212,884)	(0)	(0)	(212,884)
			(処理場費)	(193,825)	(121,640)	(0)	(315,465)
			(普及費)	(54,980)	(13)	(0)	(54,993)
(浄化槽費)			(0)	(0)	(9,716)	(9,716)	
(受託事業費)			(9,056)	(0)	(0)	(9,056)	
(業務費)			(199,942)	(3,760)	(331)	(204,033)	
(総係費)			(204,516)	(92,318)	(1,540)	(298,374)	
(流域下水道管理費)			(2,088,506)	(0)	(0)	(2,088,506)	
(減価償却費)	(4,199,491)	(265,537)	(4,600)	(4,469,628)			
(資産減耗費)	(7,000)	(0)	(0)	(7,000)			
2. 営業外費用	434,762	29,362	866	464,990			
3. 特別損失	3,182	9,955	0	13,137			
4. 予備費	10,000	0	0	10,000			
合 計	8,088,737	549,801	17,053	8,655,591			
収支差引額		292,426	△38,420	△1,234	252,772		
税抜き純利益 (△は純損失)		(98,734)	(△38,420)	(△1,234)	(59,080)		
たな卸資産購入費		22,000	0	0	22,000		
資 本 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1. 企業債	2,086,600	0	0	2,086,600	
		2. 負担金及び分担金	332,957	59,580	0	392,537	
		3. 補助金	948,400	0	0	948,400	
		4. 固定資産売却代金	2	0	0	2	
		合 計	3,367,959	59,580	0	3,427,539	
	支 出	1. 建設改良費	3,729,267	0	0	3,729,267	
		2. 企業債償還金	2,478,442	273,189	2,913	2,754,544	
		3. その他資本的支出	6,050	0	0	6,050	
		合 計	6,213,759	273,189	2,913	6,489,861	
		資本的収支不足額	2,845,800	213,609	2,913	3,062,322	

Ⅷ 事業の概要について

(税込み額)

○ 収益的支出における主な事務事業		3,179,373 千円
1. 管渠施設維持管理事業	497,809 千円
2. ポンプ場施設維持管理事業	212,884 千円
3. 処理場施設維持管理事業	315,465 千円
4. 水洗化・排水設備普及事務	48,129 千円
5. 私設下水道設置費補助事業	6,864 千円
6. 浄化槽切替工事費補助事業	9,716 千円
7. 流域下水道維持管理費	2,088,506 千円

○ 農業集落排水事業費	148,869 千円
○ 公設浄化槽事業費	9,716 千円
○ 資本的支出における主な事業		
1. 汚水管渠整備事業		1,859,177 千円
(1) 交付金事業	L = 4,265m	(879,800 千円)
(2) 起債単独事業	L = 3,790m	(699,400 千円)
(3) 純単独事業	L = 236m	(79,032 千円)
(4) 建設事務費	(200,945 千円)
2. 雨水管渠整備事業		958,621 千円
(1) 交付金事業	L = 499m	(691,000 千円)
(2) 起債単独事業	L = 571m	(197,640 千円)
(3) 純単独事業	(43,781 千円)
(4) 建設事務費	(26,200 千円)
3. 地震対策事業		10,000 千円
(1) 交付金事業	(5,000 千円)
(2) 起債単独事業	(5,000 千円)

4. 長寿命化対策事業		824,847 千円
(1) 交付金事業	L= 403m	(348,000 千円)
(2) 起債単独事業	L= 420m	(277,820 千円)
(3) 純単独事業	(186,608 千円)
(4) 建設事務費	(12,419 千円)
5. 流域下水道事業		70,277 千円
(1) 流域下水道建設費負担金	(70,277 千円)
6. その他施設整備事業		6,345 千円
(1) 車両運搬具取得事業	(1,650 千円)
(2) 工具器具備品取得事業	(4,695 千円)